

令和4年度秋田県社会貢献青少年・青少年健全育成成功労者表彰 受賞者・団体プロフィール

【社会貢献青少年（団体の部）】

○能代市立能代東中学校 JRC委員会（能代市）

ペットボトルキャップ回収のよびかけを行い、福祉施設にその収益金による物品の寄贈を行っているほか、緑の羽根募金、赤い羽根共同募金の推進に取り組むなど、社会福祉へ貢献する活動を実施しています。

また、クリーンアップ活動を春と秋の年2回、自治会と協力して行っており、除雪活動やお祭りにもボランティアとして参加するなど、地域とのつながりを大切にしながら活動しています。

○三種町立八竜中学校（三種町）

開校以来、環境教育並びに情操教育の一環として、40年以上にわたって学校緑化活動である花壇づくりに取り組んでいます。春と秋の植え付けは学校行事として、日常の水やり、花がら摘み、除草などは当番活動として生徒自らが自発的に行っており、毎年自分たちで花壇を作り上げている誇りと、伝統を受け継いでいる自覚を持って、積極的に活動しています。

また、平成2年から学区内にある海岸のクリーンアップ活動に取り組んでおり、現在は、地域の小学校や人々と協力して実施する町を挙げての活動となっています。

【青少年健全育成成功労者（個人の部）】

(敬称略)

○岩谷 文子（秋田市）

長年にわたり、青少年育成秋田市民会議において事務局長、副会長を務められており、クリーンアップ事業や会員研修等の企画・立案を担当され、特に同会の広報活動の一環である、機関誌「やどめ」の編集に尽力されています。

また、秋田市少年指導員や民生児童委員、保護司等を務められ、多岐に渡る方面から青少年の健全育成に取り組まれています。

○伊藤 誠（能代市）

平成20年より、青少年育成能代市民会議の常任委員、平成29年からは同会副会長に就任されるなど、積極的に青少年の健全育成に取り組まれています。

また、「わたしの主張」県北地区予選大会や、非行防止街頭キャンペーンの際には、広報活動等において中心的な役割を果たされるなど、同会の中心となって活躍されています。

○伊藤 俊雄 (大仙市)

平成9年から青少年保護育成委員として青少年健全育成に取り組まれ、平成20年には青少年育成大仙市民会議中仙地域会議事務局長、令和3年からは同会会長に就任されるなど、長年にわたり青少年の健全育成に尽力されています。

また、大仙警察署職員とともに、地域におけるあいさつ運動や自転車の施錠運動等において活躍され、現在も中仙地域会議として、毎年地元の小中学校を対象に図書を寄贈する活動を行われています。

○杉原 庄闊 (大仙市)

長年にわたり、青少年に対する啓発活動や、通学路のパトロール等に努められ、地域の児童生徒の安全な生活を支えてこられました。平成18年から青少年育成大仙市民会議太田地域会議事務局長として、意識啓発を目的とした立て看板や幟旗を設置をする活動に取り組まれたほか、通学路の防犯灯設置等にも尽力されました。

現在も同会の事務局補佐として活動されており、青少年健全育成に取り組む姿は地域における模範となっています。

【青少年健全育成功労者（団体の部）】

○能代市南地区民生児童委員協議会 (能代市)

地区内の小学校において、定期的に教室の机や椅子などをアルコールで除菌する消毒活動を行っているほか、交通安全教室の開催に積極的に協力し、公道の歩き方や自転車の正しい乗り方を教える活動をしています。

また、地区内の中学校が行う資源回収活動の際に、交通安全指導や見守り活動を行うなど、地域における小・中学生の安全な学校生活を支えています。

○湯沢地区少年保護育成委員会 (湯沢市)

平成28年から湯沢凧同好会と連携し、小学生を対象に、地域の伝統文化である凧づくりの伝承と親子の絆づくりを目的とした「湯沢まなぐ凧作り体験教室」を開催しています。

また、市内の携帯電話業者に対するフィルタリング依頼活動や、毎月の朝のあいさつ運動、スクールバス乗車場所での安全点検などを、PTAや地域住民と合同で実施しており、市内における青少年健全育成運動の核となって活動しています。